



鳥の 演劇祭 15

"BIRD" THEATRE FESTIVAL 15

SEPTEMBER 16 - OCTOBER 2, 2022
main venue BIRD THEATRE and SHIKANO TOWN
www.birdtheatre.org/engekisai/

2022年
9月16日(金)~10月2日(日)

主会場:鳥の劇場と周辺

チケット予約受付開始:8月20日(土)10:00

予約・問合せ先:0857-84-3612(鳥の劇場)

トリバス

を運行します。

JR鳥取駅・浜村駅と
鳥の劇場を結ぶ
無料送迎バスです。

主催:鳥の劇場運営委員会 共催:鳥取県 鳥取市

助成:  令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業/令和4年度 鳥取県 鳥の劇場運営委員会補助金活用事業(一部事業を除く)

「BRECHT ON BRECHT 音楽劇 プレイト、プレイトを語る」主催:特定非営利活動法人 鳥の劇場 助成:(公財)関西・大阪21世紀協会

日米合作「バックさんの魔法/美のことなり」主催:特定非営利活動法人 鳥の劇場 共催:独立行政法人 国際交流基金 助成:(公財)関西・大阪21世紀協会

www.birdtheatre.org/engekisai/



鳥の演劇祭は今年15回目を迎える。さまざまな困難を乗り越える飛躍への強い決意を込めて、開催テーマを「とべ!」とし、週ごとに個別テーマを定め、演劇、美術展、ワークショップ、講演などを通じて、世界を覆う閉塞の向こうを見通し、新しい実践のきっかけとなることを目指したい。

芸術監督・中島諒人

〈一週目〉

テーマ「暴力が露わになる世界、現代演劇の可能性」

ロシアによるウクライナ侵攻は築き上げられてきた国際秩序への挑戦として世界を驚かせ、今後の世界のあり方を不透明なものにしている。一週目上演のブレヒト(1898-1956)と二週にわたって上演のデュレンマット(1921-1990)は、ともに人間を翻弄する大きな社会的力(政治、経済、戦争)と大衆について、演劇を通じて考え続けた。演劇祭一週目は、アメリカ・ニューヨークのオフ・ブロードウェイで活動する劇団TBTBを迎え、二作家の作品を土台に、講演やワークショップも交え、演劇が政治、経済、戦争の状況にどう応答してきたのかについて多面的に考える。

【上演】 『BRECHT ON BRECHT 音楽劇 ブレヒト、ブレヒトを語る』 TBTB[アメリカ]

主催:特定非営利活動法人鳥の劇場 助成:(公財)関西・大阪21世紀協会

『老貴婦人の訪問』 鳥の劇場[鳥取]

『地獄極楽 妖怪ショー!!』 目黒大路[京都]

【トーク・対談】 ドイツの劇作家ブレヒトとアメリカ ニコラス・ヴィセリ(TBTB芸術監督)

演劇の公共圏について 内野儀(演劇評論家)

【ワークショップ】 逃げるために読むブレヒト 萩原雄太(演出家)

カラダで(詩)を作ってみよう! 大岡淳(劇作家・演出家)

【関連企画】 山陰海岸ジオパークフォーラム「えっ!演劇とジオ?(仮題)」



〈二週目〉

テーマ「ともに生きること、美しく生きること」

「障がい」は人と人の多様で繊細であるべき関わりを、思い込みやレッテルによって薄っぺらいものに変えてしまう。それは障がいのある人だけの問題ではなく、社会に生きるみんなの問題でもある。障がいの有無に関係なくみんなの多様な生き方、多様な存在それぞれに美しさがあり、その多様な美しさを大切にすることが社会をより良い場所に変えていく。二週目は、アメリカのTBTBと鳥の劇場プロデュースのじゅう劇場の合同公演を目玉に、伊藤亜紗さん(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)らも迎え、障がいという問題を通じて、現代社会の課題について考える。

【上演】 日米合作『バックさんの魔法／美のことなり』 TBTB[アメリカ] × じゅう劇場[鳥取]

主催:特定非営利活動法人鳥の劇場 共催:独立行政法人国際交流基金
共同制作:特定非営利活動法人鳥の劇場 独立行政法人国際交流基金 助成:(公財)関西・大阪21世紀協会

『老貴婦人の訪問』 鳥の劇場[鳥取]

【トーク・対談】 「利他」と表現 伊藤亜紗 × 播磨靖夫



〈三週目〉

テーマ「つくるよろこび、関わるよろこび」

三週目は、つくることの喜びに焦点を当て、多様なワークショップを用意する。20世紀は「消費」の時代であった。モノがもたらす便利さや充実が多くの人を動かした。21世紀を動かす新しい力はなんだろうか。鳥の演劇祭では、「つくること、それを通じて他者と関わること」を、その21世紀的力として捉え毎年ワークショップを実施してきた。本年も、5つの分野を設け、二人の外国人芸術家にも入ってもらい、事業を行う。この週は、若手演出家育成の企画「自然と共生する舞台芸術—世界の未来に向けて」の一環として伊藤全記による演出の『胎内』上演、アメリカ現代短編戯曲の紹介も行う。

【上演】 タイムスリップツアー『茂子の皆勤賞』with 小鳥や鳥大生や町の人たち 鳥の劇場[鳥取]

アメリカ短編戯曲リーディング ロブ・ウルピナティ(劇作家・演出家)[アメリカ]

『胎内』自然と共生する舞台芸術—世界の未来に向けて 鳥の劇場[鳥取]

主催:公益財団法人利賀文化会議 独立行政法人日本芸術文化振興会 文化庁 共催:特定非営利活動法人鳥の劇場
委託:令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト

【ワークショップ】 ものづくりワークショップ (戯曲・映像・写真・作曲・美術)



【全会期】 美術家ジャンフランソワ・ギヨン(フランス)による美術展示『意味の壁を越える』が、ギャラリー鳥たちのいえ(鳥取市本町)とクチュール・シカノ(鳥取市鹿野町)で開催されます。

助成:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

